



偶然にもよく似たおもちゃが同時に修理に来ました。
H形の台板に開けられた穴に、木の丸棒を打ち込んで遊ぶ、
知育玩具の一種でしょうか？

左は丸棒が3本無くなっています。

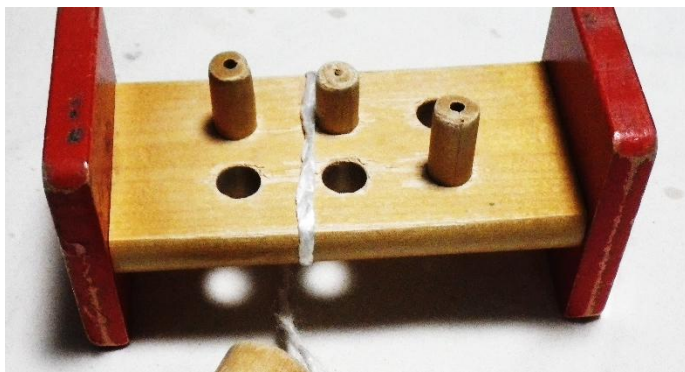
右は赤色棒が2本、黄色棒1本がゆるくなっていました。



左のおもちゃに付いていたシールで来歴が分かりました。

フィンランドの木製玩具メーカー ユッカ社（現ユシラ社）のハンマートイ
です。一歳児対象のもので、①手や腕の動きを発達させる ②集中力を身に
付ける 効果があるという事です。

右の方のカラフルなものは、オリジナルの物ではないようです。



左の方から見ます。

6本必要な棒の内3本が無くなっています。

これを何とか作ってほしいという依頼です。

この棒を観察します。



直径 18.8mm、長さ 55mmの丸棒です。

中心に直径 5mm程の穴が貫通していて、縦に 1 本切れ目が入っています。

打ち込むときに、この穴と切れ目がクッションになっているのでしょうか。

直径 20mmのラワンの丸棒を入手して、複製する事にしました。

ただ工作がなかなか大変そうです。

最近のユッカのハンマートイの丸棒を見ると、穴が無く切れ目も上部と下部で分かれ、90度ずれています。この方が多少楽そうなので、模倣して作る事にしました。のこぎりで上から35mm切れ目を入れ、反対側は90度ずらしてまた35mm切りました。中央部で15mm切れ目がクロスしている訳です。



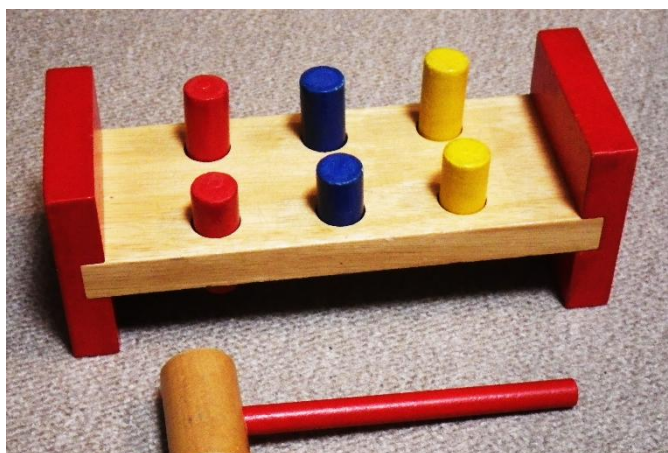
次に丸棒を削って直径を減らします。厚み 0.6mm程度です。

全体にボールペンで目印を付け、カンナを裏返しした上で小刻みに削り続けました。

全体の目印が消えると、また目印を付けて削る。根気一筋の作業でした。3回繰り返したところで、外周 61mm弱、丁度良さそうな太さになりました。若干の抵抗がありながらも、出し入れできる太さになりました。こうして3本ようやく完成です。



何とかハンマートイが復元できました。



続いて右の方のものです。

ゆるいのは赤色 2 本、黄色 1 本で、細いものは直径が 16.7mm、太いものは 16.9mm です。穴も必ずしも同じ大きさではないようです。



そして穴の中をよく見ると、Oリングがはめ込まれていました。溝を切ってはめ込み、接着されているようです。きつさを左右するのはこのリングの状態のようです。この部分には手を触れない方が良いでしょう。となると、緩い棒はどうすればよいのでしょうか？



結局思いついたのは、同色の塗料を塗って、太くすることでした。2 度塗りすると丁度良い太さになりました。耐久性に不安は残りますが、他に思い付く方法もなく、これで我慢してもらうかなさそうです。

なお、遊び方はハンマーで叩いて、板の面まで行ったら、裏返して逆に叩くのだそうです。となると、抜くことは想定外のようにです。

